

小柳よしみ4期目の当選!

小柳よしみの抱負



既成概念にとらわれず、挑戦してみたい。学校施設は、子どもたちの教育施設であることには変わりはないが、もっと広く市民の幸せに資する公共施設への発想の転換、施設改革を考えたい。また、公の役割は、個人の努力ではどうにもならない部分をサポートすること。この点、働きたい人が働けるための子育て支援、引きこもり問題にも関係する精神疾患へのサポートや、認知症の患者や家族へのサポートなどは急務です。浦和駅周辺の再開発、駅の高架化事業は、約30年前の計画でした。街づくりには時間がかかります。街のコンセプトを明確にした将来ビジョンを構築し、市民と共に、次世代へ残す街づくりを進めます。最高の日常を楽しめるさいたま市をつくりていきます。

小柳よしみは、5959票で4期目の当選をさせていただきました。前回よりも212票も多い得票となりました。3期12年の経験を生かして、さらに充実した4期目にいたします。投票率は、過去最低であった前回を0.62%上回った38.78%で、浦和区の投票率は、10区で一番高い43.22%でした。ただ、期日前投票所の開場期間がまちまちであったり、投票所が不便な地域があるなど、改善の余地があります。市政にもっと关心を持っていただけるよう活動の工夫もしていきたいと考えております。

2月定例会

小柳よしみが代表質問で登壇！

さいたま未来市議団を代表して、本会議質問を行いました。特に、放課後児童クラブの待機児童問題の解消や、地域活動への学校施設の開放を求めるなど、任期最後の質問となりました。

Q 放課後の子どもの居場所づくり等多くの市民の活動に有効な施設として、学校施設の積極的な開放を求める。

A 小学校がバリアフリー法の適合義務の対象になる。地域の方々、子どもたち、高齢者、障害者など皆さまに様々な形で使っていただけるように努力していきたい。校長ともしっかり話し合っていきたい。

ご意見・ご要望をお聞かせください

お名前

TEL

ご住所



市政へのご要望・ご質問は
小柳よしみ事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F
TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

『後援会イベントでハイ、チーズ！』

第47回 市政報告会

浦和パルコ 10階
浦和コミュニティセンター

入場無料
zoom
オンライン
参加可

日 時: 令和5年 5月 21 日(日)
18:30~19:45

会 場: 浦和コミュニティセンター
第14集会室(東高砂町11-1 10F)



こ や な ぎ

小柳よしみ

小柳よしみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

小柳よしみ 市政レポート
2023.5 vol.55

浦和つ子



ポストコロナの 将来像を積極的に！

～政令市20周年を迎える新たな未来にむけて～

風薫る新緑の季節、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

5月8日から新型コロナウィルスの感染症法における位置づけが5類に変わりました。市民生活における様々な制限がなくなります。特に、学校行事が自由に行えるようになった子どもたちにとっては、良かったと思います。ただし、これまでのコロナ対策の効果検証は、しっかり行って今後に生かしていくべきと考えております。

ポストコロナは、変化の時代になります。リモートワークが一般的になり、仕事や住まいのありかたにも変化が出ています。身近な緑や公園の大切さが見直され、外食に対する考え方も変わってきます。子育て支援や福祉の充実といった喫緊の課題に積極的に取り組むとともに、新たな未来へ向けたチャンスとして、取り組みを進めてまいります。

さて、本年はさいたま市議会議員の改選期にあたり、4月9日投開票で選挙が行われました。小柳よしみは、前回よりも212票多い5959票を頂き、4期目の当選を果たすことが出来ました。多くの皆さまのご期待に感謝するとともに、気持ちも新たに市政に取り組んでまいります。

政令市20周年を迎える本年度は、さいたま市にとって大きな節目となります。さいたま市が、東京のベッドタウンから、最高の日常を楽しめる皆さまにとってのホームタウンになるよう、取り組んでまいります。小柳よしみの活動に、今後ともどうぞご期待いただきますよう、お願い申し上げます。

TOPICS

令和5年度当初予算が成立

予算総額1兆1289億円、一般会計6690億円という過去最大の予算規模。令和4年度12月補正予算から出産・子育て応援事業や防災・減災、国土強靭化の推進など、16か月の切れ目のない予算編成として編成された。また、窓口手続きのオンライン化やキャッシュレス決済の拡大などポストコロナに向けた取り組みも進む(詳細 中面)。



5月1日は、さいたま市民の日

市誕生20周年を契機に、さいたま市が誕生した5月1日を「さいたま市民の日」とした。「児童生徒が改めて郷土の歴史や文化に親しむ機会」ということで、小学校・中学校など市立学校が休校(休業)となった。2021年・2022年の5月1日は土日で、2023年は制定後初の平日での休業となった。美術館、博物館、パークなど19の公共施設が無料となった。

3



さいたま市議選の 女性当選者が過去最多

前回2019年より11人多い90人が立候補し、女性は21人のうち16人が当選し過去最多となった。投票率は38.78%で過去最低であった前回を0.62%上回った。浦和区は、定数7に対して12人が立候補する激戦となったが、小柳よしみは4期目の当選をさせていただいた。投票率は、43.22%で10区で一番高い投票率となった(関連記事 裏面)。



浦和まつりは開催予定

実行委員会において開催準備が進められている。浦和おどり・音楽パレードは7月16日(日)、中山道のみこし渡御は7月23日(日)、南浦和の浦和よさこいも同日、北浦和阿波踊り大会は、9月30日(土)の開催予定。また、花火大会も東浦和大間木公園、大宮大和田公園、岩槻文化公園で開催され、10月には政令市20周年記念花火大会も開催予定となっている。

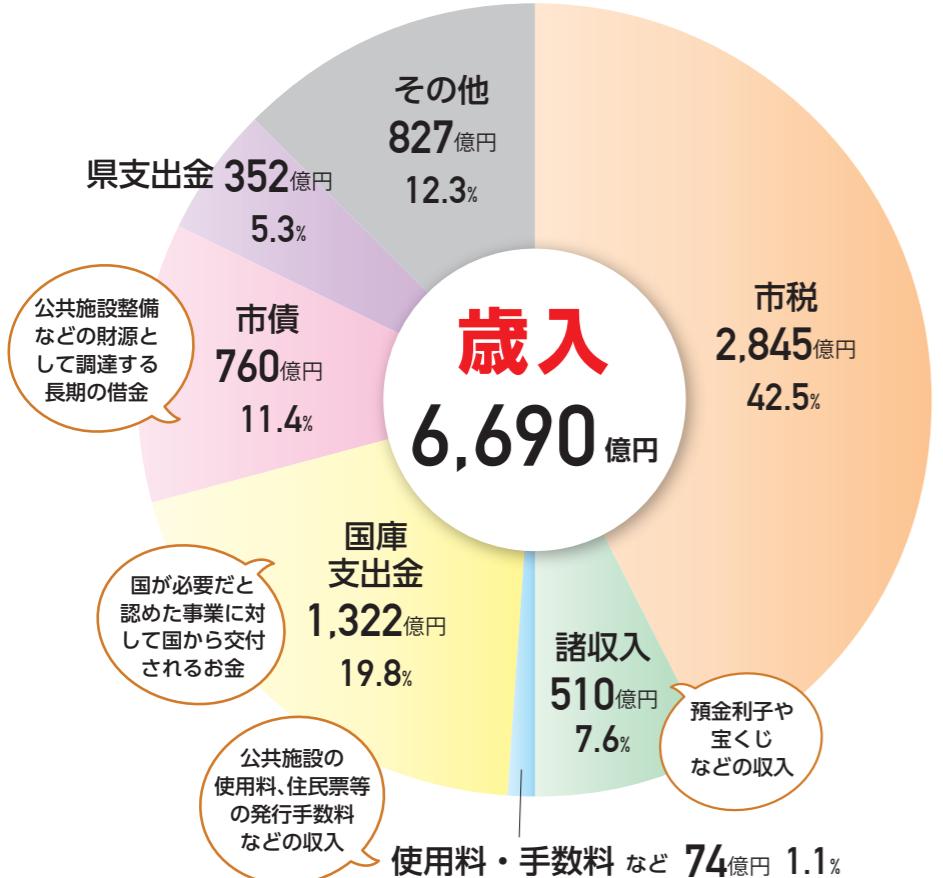


4

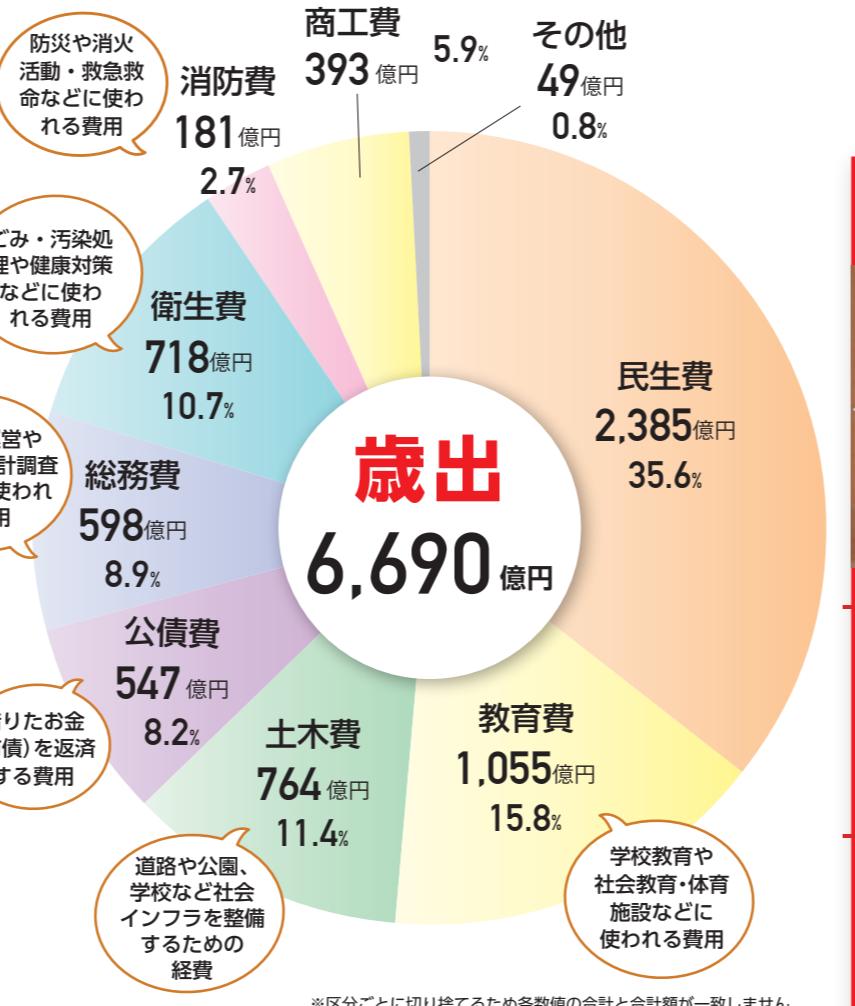
令和5年度 当初予算

予算案の
特徴
4本柱

- ① 感染症や自然災害に備えた強靭な都市づくり
- ② ポストコロナを見据えたま市の魅力づくり
- ③ 誰一人取り残さない持続可能でインクルーシブな地域づくり
- ④ 公民学共創と質の高い市役所づくり



福祉や教育、公園や道路の整備に使われる予算は…	一般会計	6,690億円 (前年度比 +317億円 +5.0%)
国保や介護保険など特定の収入がある事業は…	特別会計	3,244億円 (前年度比 +7億円 +0.2%)
病院・上下水道事業は…	企業会計	1,354億円 (前年度比 +49億円 +3.8%)
※会計ごとに四捨五入するため、数値は一致しない場合があります	全会計	1兆1,289億円 (前年度比 +373億円 +3.4%)



令和5年度予算案の主要事業

1 感染症や自然災害に備えた強靭な都市づくり(総額225.3億円)



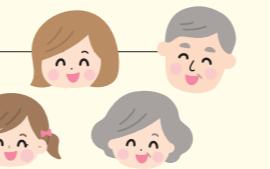
- ◎新型コロナウィルスワクチン接種体制の確保
- ◎GW年末年始など休日夜間救急診療所の検査体制の確保
- ◎ゲリラ豪雨等への下水道浸水対策の推進
- ◎市立中学校体育館へのエアコン整備の推進

2 ポストコロナを見据えたさいたま市の魅力づくり(総額107.0億円)



- ◎新庁舎整備・新都心の賑わい創出事業
- ◎浦和駅周辺まちづくりの推進、現庁舎地の利活用の検討
- ◎デジタル地域通貨導入調査の実施
- ◎市民マラソンのフルマラソン化 ◎部活動の地域移行
- ◎政令市移行・区制施行20周年記念事業

3 誰一人取り残さない持続可能でインクルーシブな地域づくり(総額23.9億円)

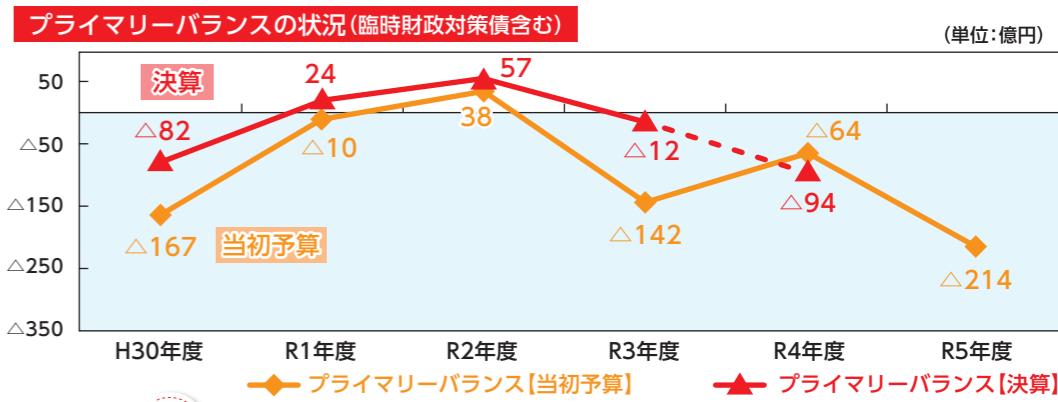


- ◎ケアラー・ヤングケアラー支援の充実
- ◎多子世帯子育て応援給付金の実施
- ◎(仮称)さいたま市口腔保健センターの整備
- ◎高齢者・障害者施設、保育所、幼稚園、学校等への物価高騰支援
- ◎放課後児童クラブの拡充

4 公民学共創と質の高い市役所づくり(総額6.2億円)



- ◎窓口オンライン化の拡充
- ◎キャッシュレス決済の対象拡大
- ◎LINEを活用した情報発信の強化
- ◎Park-PFI等公民連携による公園のにぎわい創出



小柳の視点

財政全般

財政運営が厳しいことが明確になった。人口増とともに個人市民税や固定資産税の増加による市税収入の増加がある。一方で、光熱費などの価格高騰の他、普通建設事業費や扶助費の増加により収支不足が生じている。今回予算では、収支不足に対応する市債(行政改革債、調整債)計75億円が初めて使われた。現状で市の財政を揺るがすような額ではないが、借金をしないと予算組みが困難であったことが浮き彫りになった。

新型コロナ感染症対策の検証

3年続いたコロナ禍においては、国の補助も含めて多額の税金と職員や医療関係者を含めた多くの方のご尽力があった。市民、特に子どもたちは生活において大きな制約を受けてきた。今後に向けて、医療面、行政としての運営面、経済対策等についてしっかりと効果検証を行う必要がある。

DXの推進

アフターコロナにどんな将来像を描くのかという点において、今回の予算は重要であった。現在の仕事をリモート化するという、これまでの延長線上での取り組みに感じる。コロナによって市民の価値観は大きく変わったはずである。変化を与える議会の役割は大きいと認識している。「チャットGPT」などの技術を、どのように行政事務や市民サービスの拡充につなげていくのかも重要である。

浦和のまちづくりについて

浦和駅周辺まちづくりビジョンが発表されたが、具体的な事業として進めて行くこれからが重要となる。車中心で考え進められてきたまちづくりから、人の快適を中心としたものにしなければならない。本庁舎の跡地利用、高砂小学校の更新、駅前広場のリニューアルや駅前大規模商業施設の更新も検討に入ってくる。

教育・子育て

不登校児童へのオンライン学習を導入するなどするが、誰一人取り残さない教育が義務教育における最重要テーマである。また、教員の確保、特に年度途中における欠員補充がままならない状況の改善は急務。共働き家庭が増加している中、保育所における医療的ケア児への支援や、放課後児童クラブ、子どもの居場所の確保が重要な課題である。

ケアラー・ヤングケアラーの支援

介護や看病、障害者やアルコール依存症、引きこもりの方などのケアをしている方々の支援が急務となっている。個人の努力では抱えきれない状況を支えるのが行政の役割である。特に、若くしてそのような状況にあり、勉学や学生生活に支障をきたしているヤングケアラーには、全般的な取り組みが必要である。